

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター
所 長 長 嶺 和 弥
(公 印 省 略)

病害虫発生予察特殊報について

平成31年度病害虫発生予察特殊報4第号を発表したので送付します。

平成31年度病害虫発生予察特殊報第4号

1 病 害 虫 名 : へちま疫病(仮称)

2 病 原 菌 : *Phytophthora nicotianae*

3 発 生 地 域 : 沖縄本島

4 発 生 作 物 : へちま

5 発生確認及び発生状況

令和元年5月に沖縄本島南部、7月に本島北部の露地へちま栽培ほ場で、水浸状に腐敗した果実が確認された。沖縄県病害虫防除技術センターでの簡易同定及び接種による病原性の確認後、農林水産省那覇植物防疫事務所に同定を依頼した結果、菌株の形態的特徴及び18SrDNA-ITS領域の遺伝子解析により、*Phytophthora nicotianae*による病害と診断された。

本菌は多犯性であり、沖縄県ではオクラ疫病、アロエ疫病等の報告がある。へちまでの発生は国内で初めてである。

6 病徴

果実の一部がはじめ褐色～暗褐色に変色し、のちに水浸状に軟化・腐敗症状が進展し、白色・綿毛状の菌そうを生じる(図1、2、3)。現在のところ、果実以外の部位では病徴は確認されていない。

7 病原菌の特徴と伝搬方法

- (1)本菌は卵菌類の一種であり、遊走子により水媒伝染する(図4)。
- (2)本菌の生育適温は30℃付近で、多湿を好むため、梅雨期や長雨時に発生が多くなる傾向がある。
- (3)本菌は汚染された水や土壌の移動により伝搬する。
- (4)罹病残さや土壌中の卵胞子が次作の発生源になる。

8 防除対策

- (1)敷わら等を行い、降雨による土の跳ね上がりを防ぐ。
- (2)罹病果実は発生源となるので、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (3)多発生したほ場では、連作を避ける。

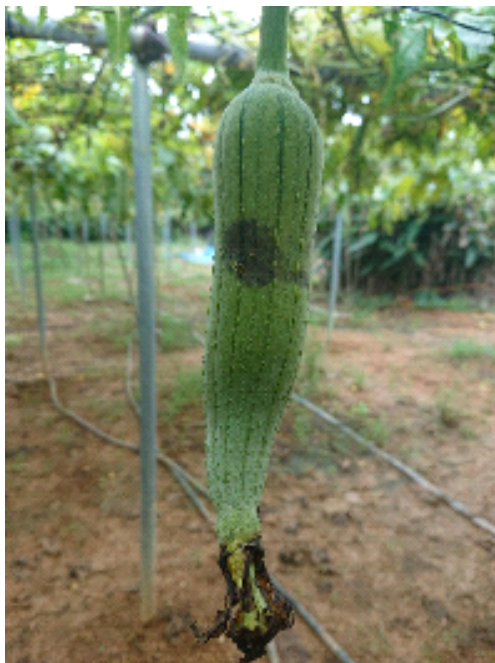


図1. 果実の症状(初期)



図2. 果実の症状(後期)



図3. 罹病果実の内部

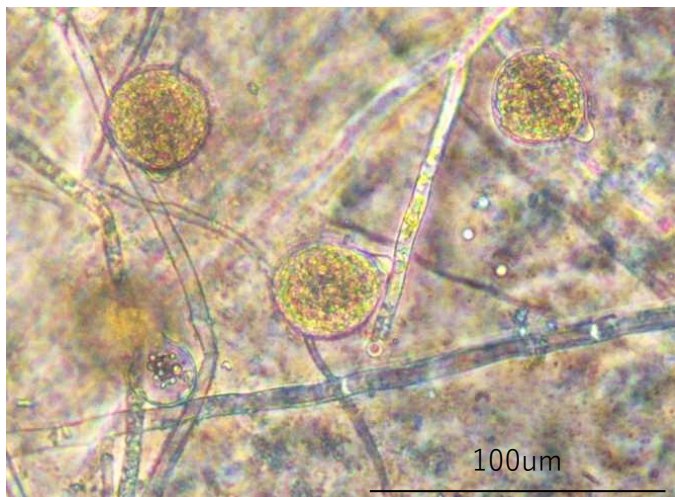


図4. 遊走子のう

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933

ホームページアドレス: <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>